

◎ 第93回定例研究会

3月18日(火)

於：静岡県評会議室

## 障害者雇用とノーマライゼーション

報告者：磯野 博 氏（日本障害者協議会 政策委員）

### ～ノーマライゼーション思想の発展過程～

#### ●発生国・デンマーク

最初にノーマライゼーションの概念を提示したのはデンマークのミケルセンです。彼はドイツ軍へのレジスタンスの容疑で強制収容所に収容され、暴虐行為を受けます。この体験が人間を人間として扱うことの重要性を認識せしめ、ノーマライゼーションの思想の核となります。戦後、施設に収容された知的障害者の実態を見たとき、その悲惨さはナチス収容所と同じと映ります。これが彼を知的障害者の施設からの解放に向けて、ノーマライゼーション運動に向かわせます。彼のノーマライゼーションとは「障害がある人をノーマルにすることではなく、彼等の生活条件をノーマルにすること」であり、その趣旨が「1959年法」によって実現され、この思想が世界的に伝播します。

#### ●承継・発展国・スウェーデン

これが最初に伝わり実現されたのがスウェーデンで、その中心となったのがニイリエです。いままでは知的障害者のみを念頭に置いていたのを、障害をもつ人一般に拡張し、さらに自立、自己決定、参加などの概念を示しました。1982年に社会サービス法が施行され、障害者等は可能な限り自宅で生活でき、一般の人と同じ生活ができることを援助しなければならないことが規定されます。

#### ●アメリカ-ADA

ミケルセンやニイリエの思想は、アメリカに強い影響を与えます。1964年に公民権法が制定され、各種の差別を禁止しましたが、障害に関する差別禁止は規定されませんでした。1973年のリハビリテーション法は、障害をもつ人を対象とした最初の差別禁止法でしたが不十分なものでした。その

後障害をもつ人の自立生活運動と合体してADA(障害を持つアメリカ人法：1990年)を創出し、いままでのノーマライゼーションを越えて、障害をもつ人の差別禁止、機会平等保障を実現しました。

#### ●障害者権利条約

「障害者権利条約」は21世紀初の人権条約で、障害者を「慈善と治療の対象から権利の主体」にすることを求めた差別禁止条約です。日本の国会でも全会一致で批准が決議され、2014年2月19日から発効されました。「権利条約」では、自由権と社会権を一体のものとして位置づける包括モデルが採用されています。

### ●第56回浜松支所所員会議

2月27日(木) 於：西部地区労連

#### 「人間尊重企業」ホンダは どう変化しているか

報告者：Yさん(ホンダ労働者)

ホンダは社是として「人間尊重」を掲げています。しかし時代の変化とともに、「人間尊重」はどこかへ行ってしまったかの感があります。「人間尊重」をとらえる場合、働かせ方と福利厚生との側面があると思います。働かせ方では、ラインのスピードは他社と比べても、ほとんど変わりません。他方、福利厚生については充実していましたが、最近その改悪が続いています。私傷病休暇は永年保障であったのが期限付きに、交代勤務者の夕食が無料から半額負担になりました。また成果主義賃金制度の導入で、数年間も賃金は上がっていない状態です。「浜松製作所」も呼び名が「浜松工場」となり、一部品供給工場に地位が低下し、海外生産の比重が増えています。

\*連絡先：〒422-8062 静岡市駿河区稲川 2-2-1 コハラサウスサイドビル 7F

静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

メール [roudouadv@wave.wbs.ne.jp](mailto:roudouadv@wave.wbs.ne.jp) ホームページ <http://www.geocities.jp/shizuokarouken/>